



MRJ90

		MRJ90STD	MRJ90ER	MRJ90LR
座席数		86 - 96		
外寸法 (L×W×H)	m (ft)	36.0×29.7×10.0 (118.0×97.6×32.7)		
エンジン推力	kN (lb)	75.6 (17,000)×2		
最大離陸重量	kg (lb)	39,600 (87,300)	41,450 (91,400)	42,800 (94,400)
最大着陸重量	kg (lb)	38,500 (84,900)	38,500 (84,900)	38,500 (84,900)
航続距離 (@Full Passenger Payload)	km (nm)	1,610 (870)	2,590 (1,400)	3,280 (1,770)
巡航マッハ数 / MMO		M 0.78 / M 0.82	M 0.78 / M 0.82	M 0.78 / M 0.82
離陸滑走路長 (MTOW, SL, ISA)	m (ft)	1,460 (4,790)	1,590 (5,220)	1,690 (5,540)
着陸滑走路長 (MLW, Dry)	m (ft)	1,450 (4,760)	1,450 (4,760)	1,450 (4,760)

MRJ70

		MRJ70STD	MRJ70ER	MRJ70LR
座席数		70 - 80		
外寸法 (L×W×H)	m (ft)	33.6×29.7×10.0 (110.2×97.6×32.7)		
エンジン推力	kN (lb)	66.7 (15,000)×2		
最大離陸重量	kg (lb)	36,850 (81,200)	38,400 (84,700)	40,200 (88,600)
最大着陸重量	kg (lb)	36,200 (79,800)	36,200 (79,800)	36,200 (79,800)
航続距離 (@Full Passenger Payload)	km (nm)	1,480 (800)	2,350 (1,270)	3,330 (1,800)
巡航マッハ数 / MMO		M 0.78 / M 0.82	M 0.78 / M 0.82	M 0.78 / M 0.82
離陸滑走路長 (MTOW, SL, ISA)	m (ft)	1,390 (4,560)	1,500 (4,920)	1,650 (5,410)
着陸滑走路長 (MLW, Dry)	m (ft)	1,390 (4,560)	1,390 (4,560)	1,390 (4,560)

Note: This data is subject to change without prior notice.

MRJ

Mitsubishi Regional Jet





Flying into the future.

ごあいさつ - Message -

MRJ(Mitsubishi Regional Jet)は、三菱重工がこれまで防衛・民間航空機分野で数多くの開発製造を行うことで培ってきた、世界最先端の航空機開発・製造技術力をベースに当社が開発する次世代のリージョナル・ジェット機です。

三菱重工は日本の航空宇宙産業のリーディングカンパニーとして、数々の製品の研究開発・生産を行い、最先端技術で技術立国たるわが国の発展に寄与しています。民間航空機分野ではボーイング社787複合材主翼など民間輸送機の主要部位の開発・生産を担当しており、宇宙機器でもわが国の基幹ロケットであるH-IIAを担当し、わが国の航空宇宙産業を先導する役割を果たしています。

2008年3月プログラム・ローンチを決定し、4月より三菱航空機株式会社として事業を開始しました。当社は、三菱重工での技術的な基礎を軸に次世代のリージョナルジェットMRJを通じて新しい価値を提供し、世界の空に貢献することを目指しております。

ビジョン - Vision -

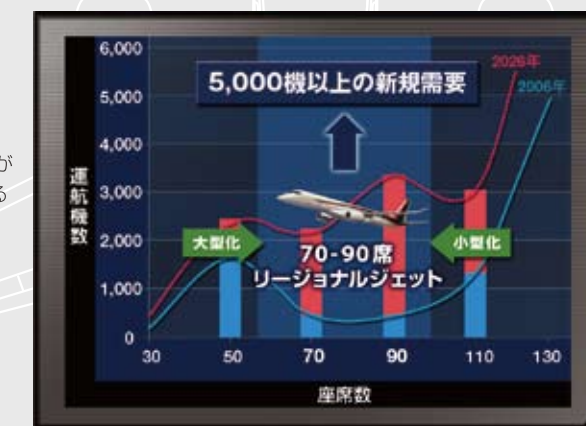
最先端の幹線機技術をリージョナルジェットに適用し、次世代リージョナルジェットのスタンダードを創造する。

環境、乗客、エアラインへ従来にない新しい価値を提供する。



市場 - Market Demand -

航空旅客は今後20年間で現在の3倍になると予測されています。MRJが参入する70~90席リージョナルジェット機については、今後20年間に全世界で5,000機以上の新規需要が見込まれています。これは今後、現在運航されている50席機の多くが座席当りコスト低減のために大型化すると共に、燃料価格の高騰と運賃低下によって現在大手エアラインが運航している低需要路線が子会社等に移管されることにより、100席超機の一部が小型化することが要因となっています。



MRJの概要 - Outline of the MRJ -

MRJは最先端技術を採用入れた次世代のリージョナルジェット機で、最高レベルの運航経済性と、最高レベルの客室快適性を兼ね備えています。MRJファミリーは90席クラスのMRJ90と70席クラスのMRJ70から構成されています。MRJ90とMRJ70は、同じ主翼、尾翼、エンジン、システムを採用しており、操縦機能、メンテナンス・プログラム、スペアパーツでも共通性を持っています。初号機納入は2013年を予定しています。日本から世界の空への新しい提案、それがMRJです。

会社概要 - Company Overview -



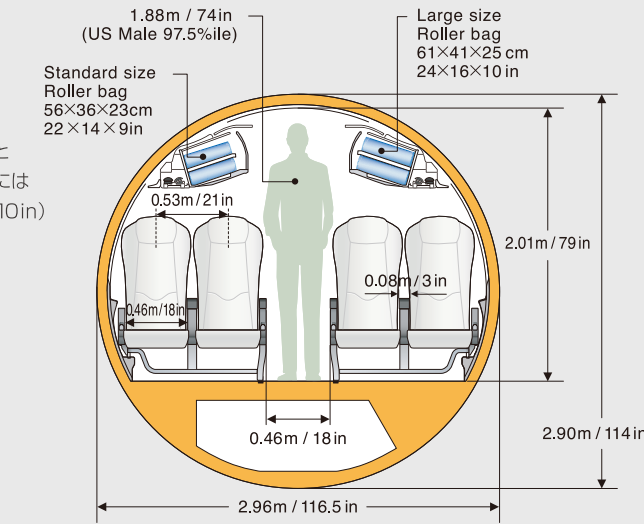


快適な客室 - Cabin Comfort -

モダンでスタイリッシュなMRJの客室は、リージョナルジェット機の室内に「快適さ」という新しい価値を提供します。広いヘッドクリアランスとフットクリアランス、大型のオーバーヘッド・ビン、バリアフリーのラバトリー、快適な新型スリムシートを備えて、乗客に優しい快適空間を提供いたします。

機内空間 - Cross Section -

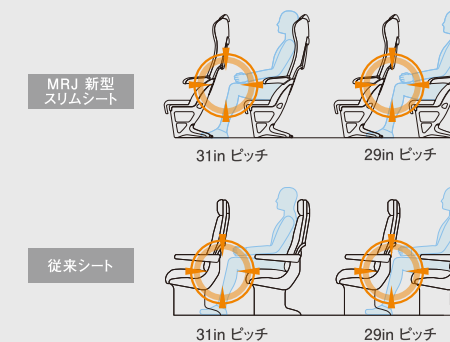
MRJは1列4席の配置で、十分な座席幅、通路幅、ヘッドクリアランスとフットクリアランス、大型のオーバーヘッド・ビンを装備しています。中央座席が無いため、座席やオーバーヘッド・ビンへと容易にアクセスできます。また、オーバーヘッド・ビンには大型のローラバッグ(61×41×25cm/24×16×10in)も収納可能です。



- ・ Mainline jet comfort
- ・ Ample head & foot clearance at the seat
- ・ Large overhead bins
- ・ Barrier-free lavatory

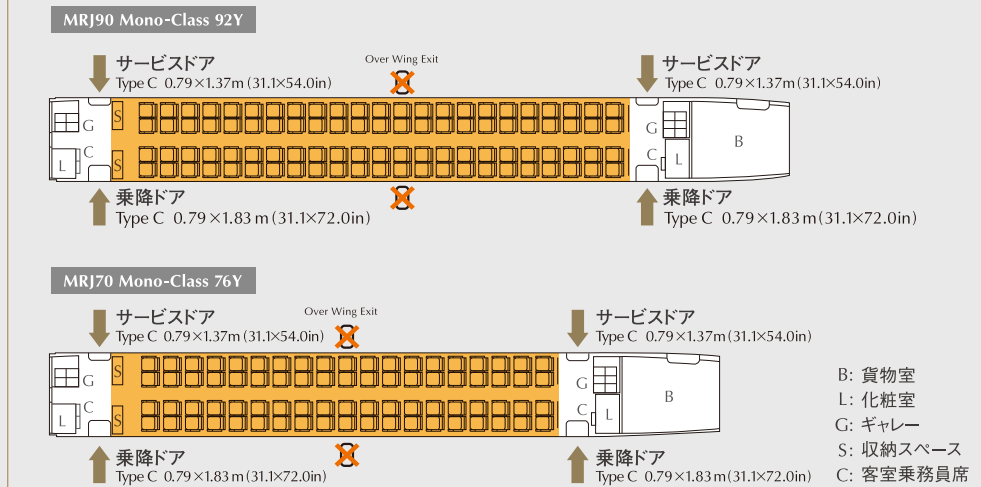
新型スリムシート - New Slim Seat -

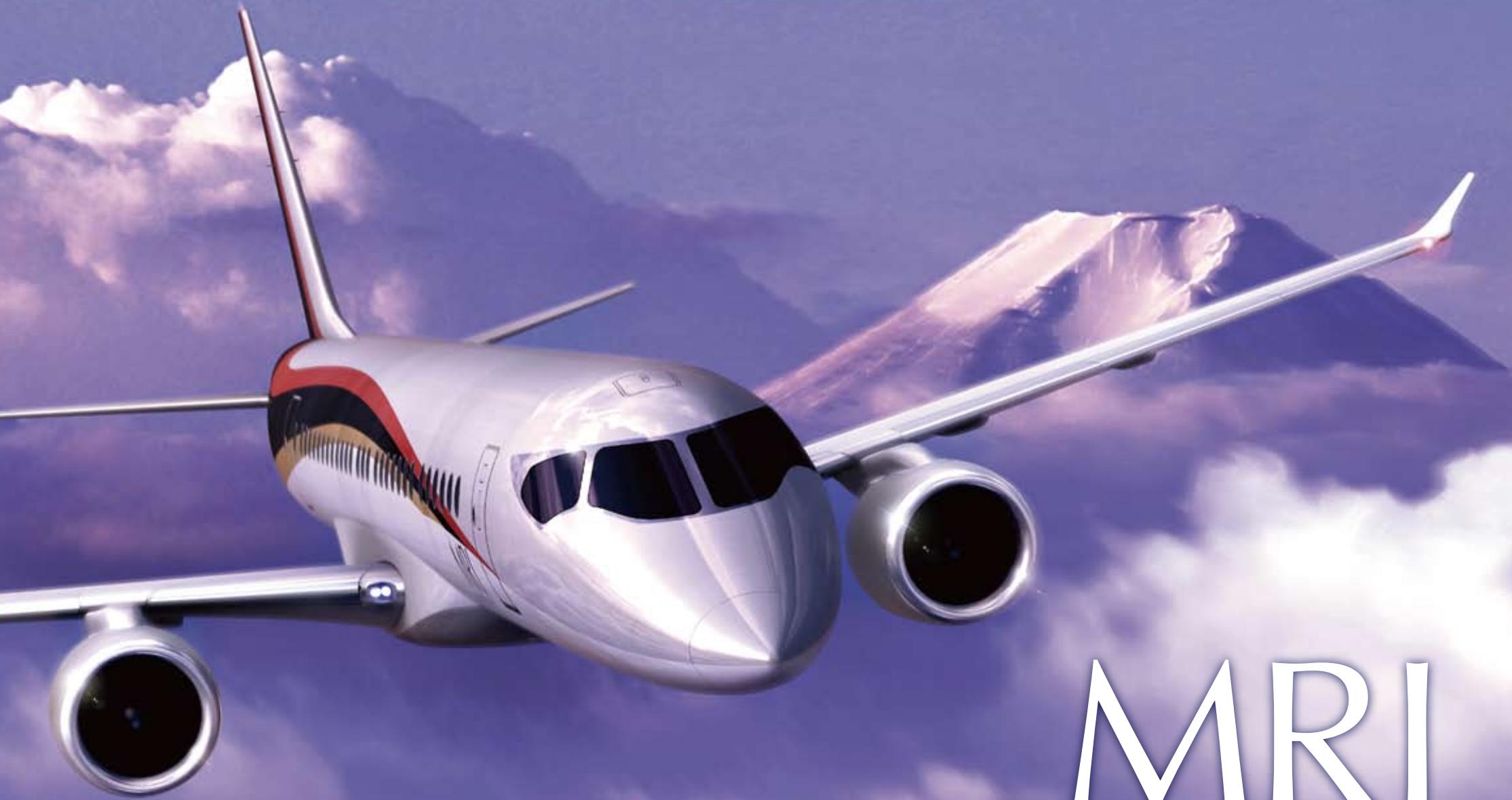
MRJに採用される新型のスリムシートには、日本独自の3次元立体編物技術が適用されています。新型スリムシートに使われるクッションは厚さがわずか6mmで、既存機に比べて座面や背もたれが薄くなり、広い足もとスペースを確保できます。さらに、従来のウレタンクッションに比べて局所的な圧迫感が少ないうえに、通気性にも優れているので座り心地が良く、快適な空の旅を乗客に提供します。



客室配置 - Interior Arrangement -

乗降ドアとサービスドアを、機体の前方と後方2箇所に配置しています。翼上の緊急出口扉がないため、多彩な客室レイアウトに柔軟に対応することが可能です。



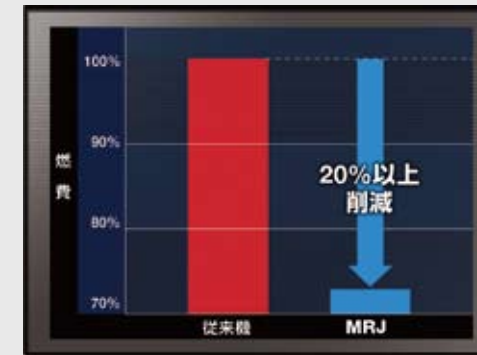


MRJ

Mitsubishi Regional Jet

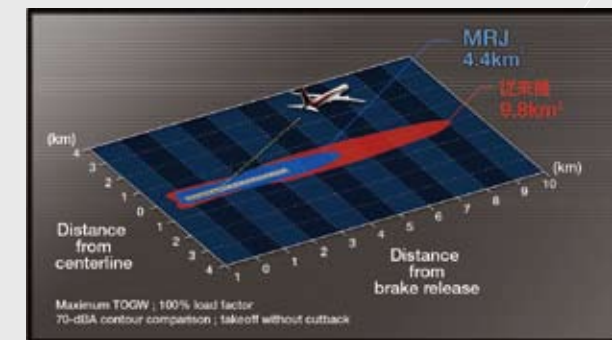
優れた運航経済性 - Low Operating Cost -

MRJは燃費および整備費の低減により、これまでのリージョナルジェットに無い優れた運航経済性を実現します。先進の空力技術に加えて、三菱重工が世界に誇る複合材技術で機体を軽量化、さらに次世代の新型エンジンを採用し、それらの最新技術によって、従来の同型ジェット機と比較して、20%以上も優れた燃費性能をもたらします。信頼性の高いシステムと、耐疲労性・耐腐食性に優れた複合材を適用し、整備コストの低減も実現します。MRJは、エアラインの競争力と収益力の向上に大きく貢献します。



環境 - Environment -

MRJは、環境に優しい旅客機です。最新の騒音基準 (ICAO Chapter 4)、排出ガス基準 (ICAO CAEP6) を十分に満たし、同クラスで最も静かで最もクリーンなリージョナルジェット機です。



航続距離 - Range Capability -

MRJは、全世界の地域航空ネットワークを十分にカバーできる航続性能を有しています。



Typical Mission Rules : ISA+10degC, 85% Annual Wind, Cruise M 0.78 @37,000ft, Alternate 200nm
Payload : MRJ90 92pax X 102kg (225lb), MRJ70 76pax X 102kg (225lb)



Typical Mission Rules : ISA+10degC, 85% Annual Wind, Cruise M 0.78 @37,000ft, Alternate 200nm
Payload : MRJ90 86pax X 109kg (240lb), MRJ70 70pax X 109kg (240lb)

フライト・デッキ - Flight Deck -

フライ・バイ・ワイヤを採用した人間中心設計のフライト・デッキです。4面の大型液晶ディスプレイ (36×28cm / 14×11in) を装備することで状況認知性を向上させ、パイロットのワークロードを低減し、安全性の向上を実現します。



整備性 - Maintenance -

設計初期段階から3Dデジタル・データを考慮した整備性を検討することで、高い信頼性と整備費低減を実現します。

サポート - Support -

24時間365日体制の技術支援、運航支援、補用品支援を通して、常にお客様の問題を迅速に解決することを約束します。

エンジンの貢献 - Engine Benefits -

Pratt&Whitney社製のPurePower™ PW1000G エンジン、効率に優れ、運航経済性と環境適合性を飛躍的に向上させます。同エンジンは低圧スプールを高速で回転させて最適な効率を得ると同時に、ファンを低速で回転させ、大幅な騒音低減を実現します。さらに、効率の向上によってエンジンの段数やファンの枚数を減らし、エンジン重量及び運航費の低減を実現することができます。

